

ある女性がイスラームに入信したいが、カーフィルの夫と別れたくない  
イスラミックセンターで、非ムスリムの女性にイスラームを薦める場合、  
ムスリムになりたくない夫との関係で困っています。このような女性にとっ  
て結婚を犠牲にすることは難しく、特に二人の間に子供があり、夫が妻に

アッラーに讃えあれ。

この質問をシェイク・ムハンマド・イブン・イブン・サーリヒ・アルウサ  
イミンに尋ねた。

ある女性が、ムスリムになりたいが、夫は良い人なので、別れたくない、  
一体どうすればよいのかと尋ねました。

シェイクは次のように答えられた。

「この女性は夫と別れなければならない。しかし、夫をイスラームに招くこ  
とはできるであろうか。彼女は夫に『私はムスリムになりたい。でもムスリ  
ムになれば、結婚はあなたがムスリムにならないかぎり、無効になります。

質問：

彼女がムスリムになった後、夫にイスラームを薦める間、婚家に留まるこ  
とができますか。それとも婚家を出なければならないのでしょうか。

解答：

「夫がムスリムなるという望みがあれば、イッダーの期間（結婚解消を待  
つ期間）が終わるまで留まることができます。」

質問：

イッダーの期間中に妻は身を覆わなくてもよいのですか（ヒジャーブを着

---

けずに出かける)。

解答：

夫がムスリムになるかどうか確実ではないので、安全を期して、体を覆った方がよい。

質問：

妻は夫と二人きりになってはいけないのですか。

解答：

妻は夫と二人だけになってはいけない。

質問：

このように彼女に答えた場合に、彼女がイスラームを避けてしまうならば、シャリーアに従って2番目の解答を言わなくてもよいですか。彼女には、「まずムスリムになりなさい。夫のところに留まるかどうかについては後

解答：

それはよくない。始めに説明せずに、後から決まりを知らせてから彼女がイスラームを離れた場合(背教者になる)、問題はもっと悪くなる。そのため預言者(彼に平安とアッラーのご加護を)はアリ・イブン・アビ・タアリブをカ

質問：

妻がムスリムになった後、夫と暮らしつづけると、大罪(カビーラ)を犯したことになるのですか。

解答：

その通りである。妻はジナ(不正な性的関係)を続けるべきではない。

質問：

彼女に何と説明すればよいのですか。

解答：

彼女がムスリムになった場合、夫がならない場合は、結婚が無効になるとはっきり知らせた方がよい。

この問題に直面する女性に話す場合は、以下の点を強調しなければならない。

アッラーとかれのみ使いへの愛が誰に対する愛よりも優先される。

妻が夫に誠実にイスラームを薦め、彼のために祈るならば、アッラーを夫を妻の掌中の中で導くであろう。

アッラーのために何かを犠牲にするものは、アッラーはもっと素晴らしいものを代わりに与えてくださる。

アッラーを愛するがあまりに何かをささげた下僕のことをアッラーは決してお見捨てにならない。

このような女性がムスリムになり、夫と別れた場合、ムスリムの男性がこの女性と結婚し、子供達を家族に迎え入れるべきである。それとも心根のよいムスリムが責任を持って、彼女と子供達に施しを与えるべきである。ア